

---

**第17回 日本水大賞**  
**2015 日本ストックホルム青少年水大賞**

---

**受賞者へお祝いの言葉**

---

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

第17回日本水大賞「大賞」を受賞された「岩手県立宮古工業高等学校 機械科 課題研究 津波模型班」の皆様、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

皆様におかれましては、三陸沿岸が古来より津波による大災害で多くの人命が失われてきたことから、津波発生時の対応や危機意識の啓発を目的に、宮古湾など地区ごとの地形特性を反映した立体模型を作成し、平成17年から10年間、100回を超える疑似津波実演会を開催してきました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの方々が津波の犠牲となりましたが、実演会を開催した15校の小中学校で犠牲者がいなかったことは、皆様の「風化してはいけない津波災害」を記憶に残し、防災意識を伝えていく活動の賜物だと考えています。

また、昨年のお大阪府など関西方面での実演会や今年3月に仙台で開催された第3回国連防災世界会議での実演など、幅広い活動にも取り組み、県内外を問わず多くの方々から高い評価を得ているものと思います。

今回の受賞は、この経験を伝える取組が全国の模範として高く評価されたもので、岩手県にとっても大変喜ばしく、今後、皆様の活動がますます発展されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成27年7月7日  
岩手県知事 達増 拓也

## 祝 辞

「第17回日本水大賞」におきまして、直方川づくり交流会の皆さまが国土交通大臣賞を受賞されましたことを心からお祝い申し上げます。

今回の受賞は、市民と行政が協働した川づくり「遠賀川夢プラン」の提案や、未就園児から大人までを対象にした「河川環境教育」の活発な展開をされるなど、19年間の長きにわたり継続して活動されてきたことが高く評価されたものと考えます。

皆さまの「河川環境教育」で学んだ子どもたちが、「世界子供水フォーラム」に日本代表として参加したり、大学に進学して水環境分野を専攻するなど、次世代の育成にも大きく寄与しておられます。皆さまの環境に対する思いと熱心な活動に対し深く敬意を表します。

福岡県では、環境に配慮した河川改修を行うとともに、河川愛護活動を支援するために「ふくおか水もり自慢！」を開催し、水に関わる愛護団体間の交流、団体と行政との協働を進めているところです。こうした中で、皆さま方がこのような栄えある賞を受賞されましたことは、大変喜ばしい限りです。

今回の受賞を契機に、皆さまの活動が今後ますます発展し、さらに飛躍されますことを祈念いたします。

平成27年7月7日  
福岡県知事 小川 洋

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

第17回日本水大賞「環境大臣賞」を受賞された「淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク」の皆様、「未来開拓賞」を受賞された「山本能楽堂」の皆様へ、心からお祝い申し上げます。

淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク様におかれましては、市民団体や大学、企業などが連携して、外来種駆除や河川清掃などの活動に取り組み、希少生物を保全する環境を整えられてこられました。そして、イタセンパラを放流し、安定した定着を実現されたことが、生物多様性の保全・回復に向けた体制づくりの先導的モデルとして、高く評価されました。

また、山本能楽堂様におかれましては、子ども達が参加する、水辺を舞台とした新作能「水の輪」の上演を通じて、「水の大切さ」を次世代に伝えるとともに、海外公演など国際的な発信にも取り組まれていることが高く評価されました。

大阪府においては、川に親しみを持っていただけるよう、川辺の賑わい創出や、「アドプト・プログラム」のような地域と一体となった清掃活動に取り組んでいます。今年は、「アドプト・プログラム15周年」です。これからも府民の皆さまが、身近な河川・海岸などに愛着を持ち、施設の美化活動に取り組んでいただくため、様々な角度からサポートしていきます。

今回の受賞を契機に、皆様の活動が益々発展することを祈念いたしますとともに、活動を支えてこられた関係の皆様へ心から感謝申し上げます、お祝いの言葉といたします。

平成27年7月7日  
大阪府知事 松井 一郎

## 祝 辞

第17回日本水大賞「厚生労働大臣賞」を受賞された「横浜市水道局」の皆様、誠におめでとうございます。

横浜の水道は、1887（明治20）年に県営水道として給水を開始した日本初の近代水道であり、1890（明治23）年から横浜市が運営されています。

横浜市では、水源部の山梨県道志村の水源林を取得して以降、約100年間にわたり、その計画的な保護・育成に努めてこられた結果、原水の水質が良好なものとなっています。これにより、浄水過程での薬品使用量を抑制するとともに、電力使用量を大幅に削減し、環境にやさしい水道システムを構築したことが高く評価されたものであり、栄えある受賞を大変うれしく思います。

神奈川県においても、県民の皆様へ個人県民税の超過負担をお願いし、この財源を活用して、水源林の整備・保全・再生などに取り組んでいるところであり、受賞された皆様の活動に心から敬意を表します。

今回の受賞を励みとされ、今後も、水源林の保全と環境にやさしい水道水の提供に御尽力いただくことをお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

平成27年7月7日  
神奈川県知事 黒岩 祐治

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

「沖縄県立八重山農林高等学校環境工学部」の皆様、第17回日本水大賞「農林水産大臣賞」の受賞、誠におめでとうございます。

八重山諸島では、名蔵アンパルや石西礁湖といった貴重な自然が残されていますが、近年は開発が進み、赤土の流出が深刻な環境問題となっています。

皆様は、地元八重山の「美しい海、自然を守りたい」という思いから、この大きな課題に情熱を注ぎ、環境調査やアンケート調査に加え、赤土の特質に着目した土壌実験など、多方面にわたる取組を行ってこられました。

これらの取組は、水環境の改善だけにとどまらず、地域の活性化にもつながるものであり、皆様の御努力に深く敬意を表するものであります。

また、環境教育の実践やボランティア活動などの啓発活動にも取り組むなど、次の世代への波及効果は大きく、地域の将来を担う皆様の活動を非常に頼もしく感じております。

皆様の若さあふれる行動力と柔軟な発想、粘り強い精神力が、沖縄の未来を開くことに寄与するものと心から期待しております。皆様の更なる飛躍を心から祈念してお祝いの言葉といたします。

平成27年7月7日  
沖縄県知事 翁長 雄志

## 祝 辞

第17回日本水大賞「文部科学大臣賞」を受賞された「京都府立桂高等学校TAFS『地球を守る新技術の開発』班」の皆様、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

日々、地球環境を守るための技術を磨いておられる皆様におかれましては、宮城県固有の日本芝種と雑草の耐塩性の違いに着目し、塩の散布による雑草の抑制について試験や実証実験を行ってこられました。塩を除草剤の代替とする環境負荷の少ない技術の開発は、河川や海岸の生物多様性に配慮した堤防の緑化に大きく貢献する取組であり、ここに深く敬意を表する次第であります。

次代を担う皆様が水分野におけるこのような栄誉ある賞を受けられたことは、京都議定書が採択されたこの京都の地において、環境問題に対する関心が若い世代に培われている証であり、大変心強く感じ、誇りに思います。

京都府といたしましても、安心して暮らせる社会を築いていくため、豊かな自然環境の保全や治水対策の推進など、水とともに生きていく取組を進めております。

今後とも、京都府立桂高等学校TAFS「地球を守る新技術の開発」班の皆様の熱意と探求心による活動が、これからの京都府の未来に新しい流れをもたらすことを心から期待いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成27年7月7日  
京都府知事 山田 啓二

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

「宮城県小牛田農林高等学校」,「京都府立桂高等学校」の皆様, 第17回日本水大賞「文部科学大臣賞」の受賞, 誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

このたびの受賞は, 一般の植物と金華山で発見された自生の日本芝種の耐塩性の違いに着目し, 塩の雑草抑制への活用を研究したもので, 耐塩芝を実際の堤防に植生し実証実験を行って雑草の抑制効果の発揮を確認するなど, 短期間に実用可能な技術開発に取り組んだ点が高く評価されたものと伺っており, 皆様の着想と御努力に深く敬意を表するものであります。

宮城県においても堤防の維持管理として行う除草に毎年多大の費用を要しており, こうしたなか, 「宮城県小牛田農林高等学校」, 「京都府立桂高等学校」の皆様が第17回日本水大賞「文部科学大臣賞」を受賞されましたことは大変心強く, 誠に喜ばしい限りであります。

今回の受賞を励みに, 今後ますます御活躍されることを祈念いたしますとともに, これまで活動を支えてこられた関係者の皆様の御尽力に心から敬意を表しまして, お祝いの言葉といたします。

平成27年7月7日  
宮城県知事 村井 嘉浩

## 祝 辞

「第17回日本水大賞」の各賞を受賞された皆様, 誠におめでとうございます。

水と関連する生物多様性の保全・再生を重視した自然環境保全活動で「株式会社 伊藤園」が「経済産業大臣賞」を, アジア地域に適合する住民参加型コミュニティ排水処理システムの開発・普及で「特定非営利活動法人 APEX」が「国際貢献賞」を, 河川流域の誇りうる風土形成に資する物語・絵本・歌留多・讃歌等創作活動で「特定非営利活動法人 風土工学デザイン研究所」が「審査部会特別賞」を, ハケ土壌の水環境に与える影響についての研究で「東京都立多摩科学技術高等学校」が「日本ストックホルム青少年水対象」をそれぞれ受賞されました。

皆様におかれましては, 安全な水, きれいな水, おいしい水のあふれる21世紀の日本と地球を目指し, 水循環の健全化に貢献するさまざまな活動が高く評価され, 今回の受賞につながったものと思います。

昨年, 都においては, 「世界一の都市・東京」の実現を目指し, 「東京都長期ビジョン」を策定しました。その政策指針の一つに, 「水と緑に囲まれ, 環境と調和した都市の実現」を掲げ, 東京にふさわしい水循環の姿を追求するとともに, 川や海などの水辺空間が, 都民により一層身近なものとなるよう取り組んでいます。

受賞された皆様方におかれましては, 今回の受賞を契機に, 水資源や水環境の保全・再生, 水文化の継承に向けて, 益々ご発展ご活躍されることを祈念し, お祝いの言葉といたします。

平成27年7月7日  
東京都知事 舛添 要一

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

第17回日本水大賞「市民活動賞」を受賞された「綾瀬川を愛する会」の皆様へ、心からお祝い申し上げます。

皆様は、急激な都市化に伴う家庭排水等の増加により著しく汚濁の進んだ綾瀬川を再生するため、20年近くにわたり水質調査や堤防・河畔のゴミ拾いを毎月実施され、排水対策や河川環境の改善を県や市と連携して取り組んでこられました。

また、食器の洗浄に中性洗剤を使わない「アクリルタワシ運動」や浄化槽の普及など家庭排水の水質改善にも尽力されました。こうした地道な活動によって、きれいになった綾瀬川や河畔林として復元された「綾瀬の森」は、子供たちにとって、植物や小魚などとふれあい、観察ができる貴重な環境学習の場となっております。

今回の受賞は、長年にわたる市民主体の実践的な活動が高く評価されたものです。皆様のこれまでの御努力に深く敬意を表します。

埼玉県では、「清流の復活」、「安らぎとにぎわいの空間創出」を2本柱として、地域と連携・協働しながら、川の再生に全力で取り組んでおります。そして、県民の誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の国埼玉」の実現を目指しています。

こうした中、皆様がこのような栄えある賞を受賞されましたことは、県内で熱心に活動をしている多くの方々の励みとなり、本県における川の再生の取組にとって大きな弾みになると期待しています。

今回の受賞を契機として、皆様の活動が今後ますます発展し、その活動の輪が更に広がっていくことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成27年7月7日  
埼玉県知事 上田 清司

## 祝 辞

第17回日本水大賞「未来開拓賞」を受賞されました「熊本市立天明中学校生徒会」の皆様へ、心からお祝い申し上げます。

「熊本市立天明中学校生徒会」の皆様は、長きにわたり、地域の環境団体と協働し、山地での植林活動、河川での竹炭を利用した水質浄化活動、海岸での清掃活動など山・川・海に及ぶ包括的な水環境の保全に取り組んでこられました。

未来の環境活動リーダーとなり得る人材育成にもつながるその活動が、まさに「未来開拓」の名にふさわしい先進的な取組として高く評価されたものと考えます。

熊本県では、「学校版環境ISO」の活動を通して、「環境立県くまもと」の推進に資する学校づくりに取り組んでいます。これは、児童生徒と教職員が話し合い、学校をあげて清掃活動やリサイクルなどの環境保全活動を実践するものです。学校、家庭、地域が一体となって、地域の環境問題の解決に向けた活動を推進していただくことを期待しています。

今回受賞された皆様の今後ますますの御活躍を期待するとともに、活動を支援してこられた関係の皆様への御尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

平成27年7月7日  
熊本県知事 蒲島 郁夫

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

第17回日本水大賞「未来開拓賞」を受賞された岐阜県自然共生工法研究会の皆様、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

岐阜県自然共生工法研究会におかれましては、産学民官の協働によって平成13年12月に設立して以来、水と緑があふれ、多種多様な生物を育む自然豊かな岐阜県土の保全・復元を図り、次の世代に素晴らしい県土を引き継いでいくことを目指して、様々な活動を展開されており、大変心強く感じるとともに、誇りに思っております。

このたびの受賞は、既設魚道の維持管理を専門知識が少ない方でもできるように、共通の調査手法として「魚道カルテ」と「手引書」を作成し、住民との協働により取り組まれていることが、既設魚道の新たな管理手法として高く評価されたものであり、皆様の着想とご努力に深く敬意を表する次第であります。

岐阜県では、全県民が心をひとつにして「清流の国ぎふ」づくりを進めておりますが、受賞された活動は、「清流の国ぎふ」づくりを支えるものであり、今後ますますご活躍されることを期待するとともに、活動を支えてこられた関係の皆様のご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉とします。

平成27年7月7日  
岐阜県知事 古田 肇

## 祝 辞

第17回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞された「特定非営利活動法人 グラウンドワーク西神楽」の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

皆様は、清らかな水とともに豊かな暮らしが広がる「ふるさと」づくりのために平成8年から「さと川づくり事業」を開始され、河川周辺の清掃活動やフットパス、ビオトープなどの整備、自然観察会や防災教育・訓練の実施、地元産の食材を活用した「ミニ食マルシェ」の開催、さらには住民手づくりの「さと川パークゴルフ場」の造成、運営・管理といった幅広い活動に努めてこられました。

今回の受賞は、長年にわたり地域住民の皆様が主体となり、河川空間を大切にすることによって魅力ある地域づくりを進めようとする活動が高く評価されたものであり、「人々が参加する川づくり」を推進する北海道としても大変喜ばしく、今後こうした取組がさらに道内各地に広がることを期待しています。

最後に、皆様の熱意のあふれた取組に心から敬意を表しますとともに、特定非営利活動法人グラウンドワーク西神楽の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成27年7月7日  
北海道知事 高橋 はるみ

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

「第17回日本水大賞・審査部会特別賞」を受賞されました興津川保全市民会議の皆様へ、心からお祝い申し上げます。

皆様は、静岡市の東部を流れ、清水区の「命の水」の源である興津川の水環境を保全するため、20年余にわたって、多様な保全活動に取り組まれてきました。自治会をはじめ、商工業、漁業、林業など幅広い分野から様々な団体が活動に参画し、特に、「興津川クリーン作戦」は、毎年1,000人以上の方が参加されていると伺っています。また、皆様の活動範囲は興津川に留まらず、その水源である森林での植林・間伐・下草刈りにも取り組まれるなど、山や川を舞台に様々な体験学習の機会を設け、興津川を愛する人々を育ててきました。このように、市民・企業・行政の協働による水環境保全活動を長年継続されてきたことが、高く評価されたものと考えております。

“ふじのくに”静岡県は、富士山の湧き水や渓谷のせせらぎ、東海道のオアシス浜名湖など、美しい水の恵みがあふれています。清らかで豊かな水資源・環境の保全と活用による「水の都」づくりを推進する本県にとって、皆様の活動が恵み豊かな水資源を次の世代へ受け継いでいく取組となるものと期待しています。

今回の受賞を機に、皆様の御活動がますます発展されることを祈念して、お祝いの言葉とします。

平成27年7月7日  
静岡県知事 川勝 平太

## 祝 辞

青森県立五所川原農林高等学校環境土木科水循環研究室の皆さん、2015日本ストックホルム青少年水大賞「審査部会特別賞」の受賞、誠におめでとうございます。

この度の受賞は、耕作放棄されることの多い排水不良水田に地下かんがいシステムを導入し、田畑輪換可能な汎用性のある耕地を造成して、米・大豆の田畑輪換耕作を実験した結果、労力の節減に加え、肥料や除草剤の削減等によって環境保全型農業が可能となることで作物の付加価値向上が図られることを実証し、こうした実績を基に、水田地下かんがい方式を地域農業に普及する活動を展開しつつあることが高く評価されたものと伺っております。

青森県では、「農林水産業を支えることは地域の環境を守ることにつながる」と考え、農林水産業の生産基盤や農山漁村の生活環境等の整備を行う公共事業を「環境公共」と位置付け、強力で推進しています。このような中で皆さんがこうした栄えある賞を受賞されたことは大変意義深く、地域の将来を担う皆さんがこのような素晴らしい活動をしていることをとても頼もしく感じております。

今回の受賞を契機に、皆さんが今後ますます御活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成27年7月7日  
青森県知事 三村 申吾